

こめ〜る

2026年 7 月号

発行日:2026年7月

発行：佐渡農業協同組合 担当：JA 佐渡 営農振興部 販売企画課
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

中干指導会

6月2日から8日までの7日間、佐渡管内のモデル展示圃場約60か所で中干し指導会が行われました。中干しとは田植え後1か月に田んぼから水を抜く作業になります。田んぼを一度乾かすことは稲の過剰な成長を抑えて、根に必要な酸素を供給し、健全な稲にする効果があります。

指導会では昨今の異常気象により中干し後に雨がしっかりと降るかどうかわからない年も多い上に、中干しが強すぎる場合には田んぼの漏水の原因にも繋がるため、適切な中干しの取り組みが呼びかけられました。



指導員が中干し指導会で今年の中干しのポイントを紹介している様子

祝『本州で初めてトキの放鳥』

5月31日に、石川県能登地域において、本州では初めてとなるトキ8羽の放鳥が行われました。佐渡島では2008年にトキが放鳥されてから18年が経ち、現在、島内では約500羽(推定)のトキが定着し、大空を舞う姿がすっかり日常の風景になりました。これは農薬や化学肥料を5割以上削減し、田んぼの生きものを増やす取り組みを続けてきた生産者の努力の賜物になります。そして何より、佐渡のお米を選び、販売や食べて応援して下さる販売先様や消費者の皆様のお陰に他なりません。

佐渡で取り組んできたトキと共生した米づくりが他産地でスタートされることは喜ばしいことです。引き続き、応援くださいますようお願い申し上げます。



見頃になりつつある田んぼアート

※今年の田んぼアートのデザインは石川県能登地域においてトキが放鳥され、本州で初めて羽ばたくことから「羽ばたく」がテーマになりました。

